

議長（中田文夫君） 1 番 竹島貴行君。

1 番（竹島貴行君） 平成 17 年も押し迫り、残すところ 2 週間となりました。

私にとりまして、議会人として印象深い一年となりました。村民の皆様、議会の皆様、そして当局の皆様には多くの温かい御支援を賜り、この場をかりて感謝申し上げる次第であります。

さて、ことし最後の議회를締めくくるつもりで、以下の 2 点について質問させていただきます。

まず、住みよい地域づくりについてであります。

我が村の財政硬直化が政府の三位一体改革推進に伴い、今後、加速度的に進むという懸念を 9 月議会で述べさせていただきました。行政サービスが行われて当然という観点から、維持していくためには今後どうしていくべきかという観点へ移行せざる得なくなっているという危機感を私は抱いておりますが、金森村長におかれても、思いは共有していただけるものと考えております。

本題の住みよい地域づくりを進めることは、行政、政治の根幹であります。そのための施策を打ち出されることについては、大いに村長を盛り立てて協力していきたいと考えるものであります。

私は、村民の方から、「議会は村長に対し野党的な意見や質問が多いように見える」とおしかりを受け、「もっと村長とコミュニケーションを図り、議会として村長に協力していくべきではないか」という御意見を賜っております。もっともであります。私は村長が日ごろ申されている「村のために、村民のために汗を流し、仕事をするんだ」という意見に大いに賛同するものであり、私自身も村民の皆様には慈愛と感謝の気持ちで議員活動に取り組みたいと考えております。

今後、議会も村長や村当局と夫唱婦随のような関係で、村民のために尽力していければと個人として願っております。その意味でも、村長とコミュニケーションを大いに図っていければと願っております。御指導、よろしく申し上げます。

そこで、9 月議会の私の質問に対し、村長は、「村づくりで一番求められているのは、住民がお互いに助け合い、力を合わせて住みよい環境をつくっていくことである。そのために、村民を愛する心を持って、施策の企画にあたる」と述べられました。そして、「コミュニティーの醸成に力を注ぐため、自治会の振興策に対する財政支援等も含めて検討していきたい」とも述べられました。

私自身も、住みよい地域づくりの根幹は、そこに住む人と人との心がつながり、協調、助け合う心を醸成させることが不可欠であると考えています。

村長の述べられた財政支援に該当する自治会の振興策とは具体的にどのようなことを考えていらっしゃるでしょうか。自治会に対しては、具体的にこのような取り組みなら財政支援をしますよといったガイドラインを示すことが、村長の考える振興に直結しやすいのではないかと考えます。

村当局が住みよい地域づくりを推進するためにと考えている財政支援に値する具体的なガイドラインをお聞かせください。

次に、村長が舟橋村のかじ取りという立場につかれて、早いもので1年が過ぎようとしています。村民の大きな期待を一身に受け、プレッシャーもかなりのものであろうと推察するところであります。常に自分に厳しく、人に優しく、心を広く、熱い思いを掲げ、村全体をまとめ、住みよい村づくりを進めていく姿勢が求められると思いますが、頑張ってもらいたいと願っております。

時代の流れ、人の思いというものは非常にせつかちであり、改革とか結果を早く求めたがるものであります。この一年を締めくくる意味で、村民にかわり、村長は御自身の一年をどう評価されているか。掲げられた公約それぞれを自己評価して、達成度合いを100点満点で換算すると何点つけられるでしょうか。

以上2点、お聞きしたいと思います。

よろしく申し上げます。

議長（中田文夫君） 金森村長。

村長（金森勝雄君） 竹島議員さんの御質問にお答えいたします。

まず、住みよい地域づくりについて、そしてまた具体的な施策を問うということでございます。

私はこれまで、1月に自治会長会議を開催いたしまして、各自治会の要望事項等を取りまとめまして、それぞれの事業は村の主導型で一律に実施してまいったと思っております。例えば、防犯灯の取りかえ、あるいはまた設置、ごみステーションの修理、修繕、設置、地区公民館の管理委託などがあります。

このたび、各自治会が自主性、自立性を発揮し、活性化していただくため、従来の実業実施主体を村から自治会へ移行することにいたしまして、それにあわせて、現在、各自治会が独自で実施している事業を自治会のコミュニティー事業と認め、それらにかか

わる諸経費の支援を行うことを考えているわけでございます。また、この施策を自ら考え、自ら行うコミュニティーづくりの振興として位置づけするものであります。

今質問ありました具体的な内容につきましては、平成18年度予算に反映いたしたいと考えておりますので、これからの協議会の席におきまして、議会の皆さんと十分協議させていただき所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

参考までに申し上げますけれども、去る10月27日、開催いたしました自治会長会議におきまして、コミュニティー事業の趣旨を説明いたしまして、各自治会から調書をいただいておりますので、それに基づいたことになるかと思っておりますけれども、そういった資料等を提供いたしまして、議会の皆さんと十分相談させていただきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いしたいと思います。

次に、公約達成度の自己評価についての問いでございます。

自己採点するというのは、非常に私自身もおこがましいことでもありますし、なかなか難しいわけでございますけれども、一応私の考えを申し上げて、皆さんのまた採点といえますか、評価もいただきたいなと思うのが私の心情でございます。

まず、私の選挙公約につきましては、3つの柱「生活快適田園都市の実現」「人が元気なコミュニティーづくり」「情報公開と村民参画の推進」であり、それにサブタイトルを提示してまいりました。

まず、「生活快適田園都市の実現」でありますけれども、幾つかサブタイトルがあります。

安全で安心して暮らせる住環境整備の一端といたしまして、8月から、各種緊急情報を電子メールで送る「eネットふなはし」の開始、11月には、各自治会長さんをはじめ関係団体長さんの御理解、御協力をいただきまして、舟橋村安全なまちづくり協議会を設立いたしました。協議会では、今年度の事業といたしまして、地域安全マップを作成することになっております。また、平成8年度から事業着手いたしました京坪川河川公園事業の導入事業費等の見直しを行いまして、供用開始を平成19年度初めと早める見通しとなったことであります。

次に、「人が元気なコミュニティーづくり」でありますけれども、この公約にも幾つかのサブタイトルがあります。

福祉施設の拡充整備といたしまして、6月下旬には特別養護老人ホーム「ふなはし荘」の30床増設が許可になりまして、明春には完成する運びとなっております。農業従事

者への支援を行う施策といたしましては、8月に「舟橋村の農業を創造する会」を立ち上げまして、施策の提言をいただくことになっております。また、村民スポーツ振興の一端といたしまして、念願でありました総合型文化・スポーツクラブも明年2月に設立する運びになりました。

次に、「情報公開と村民参画の推進」であります。この公約にも幾つかのサブタイトルがあります。

村の新鮮な情報を提供手段といたしまして、8月にはホームページのリニューアルを行いました。また、5月には村の財政状況、他市町村との行政比較を盛り込んだ資料をもって、各自治会単位にタウンミーティングを実施したところでございます。さらに7月には行政改革懇談会の発足、9月には情報づくり検討委員会を立ち上げまして、それぞれの課題を検討していただき、後日、提案、提言をお願いしているところでございます。

以上のことから、個々の評価をすることは大変難しゅうございますので、全体といたしまして、まあまあ合格点をつけさせていただきたいと思う次第でございます。

今後とも公約達成のために、精神誠意努めてまいり所存であります。どうか御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。私の答弁にかえさせていただきます。

よろしくお願い申し上げます。